

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 02 20	中期総合計画主要施策番号		1-02,1-08,5-06		担当課	部・課	林務部 信州の木振興課	
事業名		木育推進事業 (森林づくり県民税活用事業)				内線		3275		
						E-mail		ringyo@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	森林づくり県民税を活用し、里山等の身近な森林や森林資源を活用した、大人から子どもまで参加できる学習機会としての木育活動を推進するための支援を行い、健全な森林育成に対する意識の高揚を図るとともに地域に根差した心豊かな県民性を育む。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]								
		森林や県産材の利用について正しい理解がされておらず、森林整備や県産材の利用が進まない。								
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]								
	森林や県産材に触れる機会が少ない。									
事業内容	[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]									
	地域住民や将来を担う子ども達に森林や県産材に触れる機会や学習機会を創出する。									
実施期間	H20 ~ H24		根拠法令等	木育推進事業実施要領(県域活動型)(地域活動型)(資材等譲与型)						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況			評価	
	地域住民や将来を担う子ども達に里山を始めとする森林や県産材への理解を深めてもらう。		県民税活用事業初年度であることから、各地域において1箇所以上の活動を実施する。			各地域で活動を実施することにより、県産材利用や森林整備の重要性に対する理解が進んだ。 県域活動 1箇所 地域活動 20箇所			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円		7,000	9,500	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円		6,350		実施方法 直接・補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		0	0	歳出節別内訳等 森林づくり県民税基金 繰入金 6,350			
	概 算 人件費	従事する職員数	人		1.00	1.00	(単位: 千円) 補助金:3,200 需用費:2,896			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円		13,499	16,649				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	木育活動の実施(県域活動(木育コンテスト))		件		1	1	県域活動では、木育コンテストに3,981人が参加し、3,997点の木工作品の応募がされるなど、活動を通じて多くの皆さんに県産材の利用及び森林整備の重要性について学習してもらうことができた。			
	木育活動の実施(地域活動(地域活動型・資材譲与型))		件		20	24				
	木育推進員による活動支援		人		82	120				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・事業に対する要望は多く、大人から子どもまで参加できる学習環境の創出は不可欠である。 ・県民税活用事業のため、期間内は県の主体的な関与は不可欠である。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		県産材等を利用して大人から子どもまで多くの県民が参加しながら木や森林について学び、県産材の利用推進や健全な森林の育成に対する意識の高揚を図るとともに、地域に根差した心豊かな県民性を育むためにも事業の継続は必要である。							